

女子ホッケーU18日本代表チーム 2016日韓交流

日付	2016年10月19日 10:30～		
場所	韓国 大邱ホッケースタジアム	天候	晴れ
試合	第2戦	通算結果	日本 1敗1分

Country

RESULT

Country

日本
JAPAN
U18

2	1Q	0	-	1	2
	2Q	0	-	1	
	3Q	0	-	0	
	4Q	2	-	0	

韓国
KOR
U18

Start	No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
DNP	1	木下実咲(GK)			
✓	2	河合玲音(GK)			
✓	4	鈴木美結(C)			
✓	5	浦田果菜	21"		
✓	7	尾本桃子			
✓	10	柴田佳歩	18"		
8	12	島田あみる			
8	14	田村綾菜			
8	15	小林久留海			
8	16	田中香帆			
✓	18	小早川志穂			
DNP	19	茅田有希			
✓	20	岡田聖奈			
✓	21	島谷日菜子			
✓	22	森作みなみ			
8	23	松 郁実			
✓	24	深田麻実子			
✓	25	寿美あい花			
HeadCoach		山内 光春			
Manager		山野 秀一			
Umpire		KIM JUNG HEE			

Start	No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	KWON HEE JIN(GK)			
15	2	LEE SE RA			
15	3	KIM YU RI			
6	5	LEE JO EUN			
✓	6	CHOI MIN YOUNG			
✓	7	KIM JEONG IHN			
✓	8	JO MIN HEE (C)			
✓	9	KIM EUN JI			
✓	10	SONG YE RIM			
✓	11	LEE SONG YI			
10	12	KIM KYEONG RIM			
✓	13	JIN SU YEON			
✓	14	JE MIN YOUNG			
15	15	JO NA LIN			
✓	17	PARK MIN JOO			
✓	18	PARK JIN SUN			
HeadCoach		KANG HYUN YOUNG			
Manager					
Umpire		KIM YOON SEON			

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	48	岡田 聖奈	PC	1-2
JPN	60	田中 香帆	FG	2-2

Country	Min	Name	Action	Score
KOR	7	SONG YE RIM	FG	0-1
KOR	19	LEE SONG YI	FG	0-2

日本のセンターパスで試合が開始。立ち上がりから韓国ペースで試合は進む。5分、韓国が素早いパス回しから日本DF陣を翻弄するが、#4鈴木、#5浦田を中心とした守備から、得点を許さない。7分、韓国は左サイドからのリスタートをサークル内にスクープで落とし、慌てた日本DFが処理にもたついたところを、韓国#10SONG YE RIMがブッシュで押し込み、先制する。その後も韓国の猛攻が続き、PCを取られるが、#2GK河合が好セーブで追加点を許さず、韓国リードで第1Qを終了。

第2Qに入っても韓国ペースで試合は進む。#10柴田がグリーンカードで退場となり、1枚足りない日本はマークの修正ができず、リバウンドを押し込まれ、追加点を許す。その後は徐々にペースを掴み、チャンスを伺う。22分#5浦田からのパスを受けた#18小早川がサークルに入るもシュートは打てず、PCとなる。#20岡田のヒットが韓国DFの足に当たリアゲインとなる。続いたチャンスはパスが乱れ、#5浦田が打ちきれず、チャンスを活かさない。その後は日本が優位にゲームを進めるも、決定的なチャンスが作れないまま、第2Qを終了。

第3Qに入り、更に勢いが増す日本は、#20岡田からのロングボールを#21島谷、#18小早川と繋ぎサークルインするもシュートを打たせてもらえない。その後、韓国のアウトレットを#15小林がインターセプトし、シュートチャンスを得るも、PCとなる。#20岡田のヒットシュートは韓国GKKWON HEE JINがはじき、得点には至らない。40分、再びPCを取得。タッチを狙うが、#5浦田のボールに合わせるができない。さらに43分PCを取得。#20岡田がストレートを狙うがまたしても韓国GKに阻まれる。終始攻め続けた日本は再三チャンスを得るも決めきることができず、韓国にシュートを1本も打たれることなく終える。

第4Qに入り、得点の欲しい日本は攻撃の手を緩めない。47分#10柴田が速いリスタートからサークル内に持ち込みシュートを放つも、枠を捉えることができない。48分PCを取得した日本は、#20岡田が豪快にヒットシュートを決め、1点を返す。1点差となった韓国もここから猛攻を見せる。対する日本は集中したDFを見せ、追加点を許さない。このまま終了かと思われた60分、日本はターンオーバーから#23松がゴール前の#16田中にヒットでパス。DFの裏でパスを受けた田中は落ち着いてリバースヒットシュートを決め、2-2の同点とする。このまま試合は終了し、第2戦は引き分け。日本は通算1敗1分とする。

日本	7	シュート数	10	韓国
	6	PC数	2	

校閲: 女子U18チームマネージャー 山野 秀一
文責: 女子U18コーチ 長尾 美和、高橋 祥子